

# みなさんの生活にも直結



# 鳥獣の生態を知って 生活の安全を守る！



お問い合わせ  
市 経済環境部  
鳥獣対策室(伊吹庁舎)  
☎58-2229  
FAX 58-1630

鳥獣は生態系を構成する重要な一員です。しかしながら、近年深刻化する農林水産業の鳥獣被害が、営農意欲の低下・耕作放棄地の増加をもたらし、さらなる被害を招くという悪循環を生じさせています。

また一方で、車との接触事故や住宅への侵入など、野生動物の出没は、私たちの生活環境までおびやかしています。

こういった事態に対応するため、市では、平成22年度に長浜市と策定した「湖北地域鳥獣被害防止計画」に基づき、様々な取り組みを実施してきました。さらに今年度からは経済環境部に「鳥獣対策室」を新設し、体制を強化しています。

今回の特集では、鳥獣の中でも被害が多いとされるサル、シカ、イノ

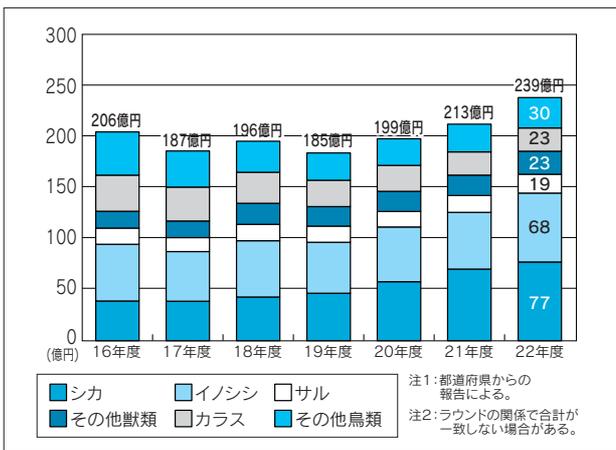
シシの生態や特徴、対策方法などについてお伝えします。

鳥獣被害を農林水産業に従事されている方だけの問題とするのではなく、日常生活にも関わるみんなの身近な問題と捉えることが大切です。地域の再点検や日常生活の見直しを行い、被害防止に向けて地域ぐるみで取り組んでいきましょう。



▲人なれして、民家の屋根で平然と行動するサル。

## 全国の農作物被害額の推移



出典：農林水産省ウェブサイト

## 鳥獣対策室での取り組み

### 被害防除

- ・ 集落環境点検
- ・ 防護柵を設置する集落に対し、市が補助金を交付
- ・ 追い払い用のロケット花火と爆竹の提供(区から依頼時)

### 有害鳥獣の捕獲

- ・ 捕獲の依頼があった際、地元猟友会へ捕獲を委託

### 今年度の新たな取り組み

- ・ 鳥獣被害対策実施隊
- ・ 狩猟免許者を含んだ鳥獣被害対策実施隊を設置し、捕獲体制を強化
- ・ 地域ぐるみの捕獲推進モデル事業(霊仙山)
- ・ 全国で12地区が対象となっているモデル事業(3年間)
- ・ ニホンジカ防除対策モデル事業(伊吹山)
- ・ 県内の奥山や標高の高い地域でのニホンジカ個体数削減に取り組む事業

# サルを知る

同じサルでも「山奥で暮らすサル」と「集落の周りで暮らすサル」では全く異なった習性を持っていて、「集落の周りで暮らすサル」は約5年で倍の数になる例もあります。

サルの異常な増加を防ぐためにも、餌となっている、農作物被害を防止する必要があります。

## ●サルによる農作物被害の特徴

群れで行動するため、短時間でも大きな被害が発生することがあります。また、作物の中でおいしい部分だけ食べるので、食べ残しが散乱します。



## ●人なれが進むサル

女性や子ども、高齢者に威嚇するなど、凶暴性が増していることから、人的被害も心配されています。

## サルの生態の特徴



サルに「恐くない」と認識されていませんか？  
みんなでチェック！

サルの人なれ度合 レベル5	人に対する恐怖心
1 人の姿を見ると、遠くにいてもすぐ逃げる	強
2 人が遠くにいると逃げないが、近づくと逃げる	↑
3 人が近くにいても多くのサルが逃げない	
4 人が追い払ってもなかなか逃げず、時には威嚇してくる	
5 民家に侵入することがある	弱

## 野生の群れの動きを支配しているのは、成獣のメス！

オスは群れに合わせて動きませんが、5〜8歳に成長すると生まれた群れから離れます。群れを離れたオスは、オスグループを形成したり、ハナレザルとして単独生活を送ります。

## ハナレザルがやってきたら…

餌付け行為をせず、みんなで追い払いましょう。  
居心地がいいと感じなければ通常1週間〜1か月で通過します。

## 記憶力がある！

おいしいエサにありついた場所や、出会っても怖くない人をすぐに覚えるなど、サルの記憶力は優れています。

## 主な情報は視覚情報から！

嗅覚は人間並みで、シカやイノシシに比べて劣ります。情報は目で見て集めているため、活動するのは日中だけです。

活動は日中のみ。

## サルの被害対策のポイント

### 大事なものは守る

- ・サルの特性に合わせた防護柵で守る。
- ・作物の保管はサルの目にふれないように。
- ・サルがあまり好まない作物(トウガラシ・オクラ等)を畑の外周に植えるなど、菜園全体の魅力をなくす工夫を。

### 不要なものはなくす

- ・野菜くずや生ごみなどを捨てない。
- ・山すその畑などで「サル用」と称する捨て作りはやめる。
- ・お墓参りのお供えは必ず持ち帰る。
- ・利用しないカキやクリは切る。

### サルを見かけたらとにかく追い払う

- ・多く的人数で、できるだけしつこく。
  - ・追い払いのターゲットとしてメスと子どもを狙うこと。
  - ・ロケット花火、電動ガンなどを活用する。
- ※追い払い用のロケット花火を提供しています。詳細は鳥獣対策室まで。

### 集落周辺は見通しを良くする

- ・林縁部(集落と山林の境)は、特に見通しを良くすること。
- ・集落内のやぶをなくす。
- ・逃げ場所になっている立ち木はできるだけ切ること。

# シカ

## を知る

### ●シカによる被害は「農作物被害」

水稻、野菜、豆類、いも類、雑穀、果樹など、多くの農作物が被害にあっています。

### 「森林破壊」

枝葉や樹皮を食べ、若木を食いつくすことで森林を草原に変えてしまったり、希少な高山植物を壊滅させてしまうことも。全国で4000ha以上の被害があるといわれています。その他、車との接触による交通事故の被害なども発生しています。

### ●無意識の餌付けを

#### 地域ぐるみでなくそう！

農作物を防護柵で囲っていても、集落の中にエサになるものがたくさんあると、シカは餌付いてどんどん集落にくるようになり、隙を狙って農作物を食べたり、人なれが進んで大胆な行動をするようになります。できるだけシカのエサになるものを減らしましょう。

### シカを集落に寄せ付けないために

#### ◆野菜くずの放棄

畑近くに野菜くずを捨てることは田畑にはおいしいエサがまわっていると教えているようなもの。野菜くずは適切に処理しましょう。

#### ◆ひこばえの処理

稲刈り後に生えてくる「ひこばえ」はシカにとっておいしいエサになっています。早生品種であれば、稲刈り直後の9～10月上旬と12月上旬の2回、中晩生品種であれば12月に1回耕すと、ひこばえの発生を防げます。

### 性格

- ・臆病で人に遭遇すると一目散に逃げる
- ・「先が見通せないこと」「足場が悪いこと」を嫌がる。

### 運動能力

- ・1m50cm以上の障害物を飛び越える。
- ※身の危険を感じた時は2m以上のジャンプをする可能性あり。

### 食べ物

- ・牧草やドングリ、葉など1,000種を超える植物を食べる。

### 食欲

- ・シカの口が届く高さ(2m)以下の植物の枝葉は何でも食べる。
- ・1日に3kg食べる。

### シカの特徴



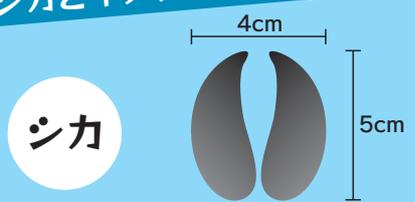
### 生態

- ・平均寿命はオス4～6歳、メス6～8歳
- ・一夫多妻で、2歳以上の妊娠率は80～90%
- ・交尾期は9月中旬～11月上旬、出産は5月～6月。一頭を出産

### 活動時間

- ・昼夜問わず活動。(昼間は警戒して人前に姿を現さない)
- ※奈良公園など、人に慣れた場所では人前でも活動します。

### 見分けにくい…シカとイノシシの痕跡の違い



- 前足と後足の大きさはほぼ同じ
- シカは副蹄の跡が残らない
- \*雪の上や傾斜地では残ることがあります
- \*副蹄(ふくてい)…足の後ろ側にある小さなひづめ

### 金網柵



- 長所**
  - ・耐久性が高い。
  - ・設置経費が高い。
- 短所**
  - ・見回りや点検修理に労力がかかる。
- ポイント**
  - ・シカには網目15cm以下で高さ2m以上、イノシシには網目10cm以下で高さ1.5m以上に。
  - ・下部を埋めるか折り返し、イノシシの掘り起こしを防ぐ。

### ネット柵



- 長所**
  - ・比較的安価で設置しやすい。
- 短所**
  - ・耐久性が低い。
  - ・かみ破りなど侵入しやすい。
- ポイント**
  - ・シカには網目10cm以下で高さ2m以上に。

### 防護柵の種類と使い分け

防護柵もいろいろ。立地条件や費用、効果などを考えて選ぶことが重要です。

すでに設置されている柵についても、有効性を再点検してみましょう。

地域で協力し合って柵を設置される場合には、補助金を交付しています。詳しくは、鳥獣対策室までお問い合わせください。

# イノシシを知る

## ●イノシシによる

### 農作物被害が甚大です！

イノシシによる湖北地域での農作物被害額は、5108万円(平成21年度)と非常に大きくなっています。

また、農地での泥浴び、踏み倒し、耕作地や農林道周辺の掘り起こしなどの被害も年々増加傾向にあります。

## ●被害防止には

### 集落に近づけないための

### 環境づくりが重要

シカ同様、エサとなるような農作物の収穫残や、ひこばえなどは適切に処理をしましょう。また、山と農地の間にある、からだを隠せるような茂みを無くすと農地への出没を減らせます。

これらの集落環境を整備することで、民家周辺への出没、そしてイノシシによる人的被害(接触、かまれるなど)を未然に防ぐことにつながります。

また、被害の多い地域では、有害な個体を捕獲することも効果的です。捕獲を希望される場合は、鳥獣対策室までご相談ください。

## 能力

- ・助走なしで1m以上の柵を飛び越える。
- ・20cmの隙間をくぐり抜ける。
- ・最高速度45km
- ・鼻先で60kgを持ち上げる。
- ・体を覆う剛毛は電気を通さない。(電気柵は鼻に当てないと効果なし)
- ・嗅覚は犬に匹敵する。

## 性格

- ・本来は警戒心が強く、とても臆病。人の気配に気づくと隠れたり、逃げたりする。
- ・パニックになり逆上すると、身を守るため突進してくる。
- ・いったん慣れると大胆になる。

## 食べ物

雑食性。植物(イネ・イモ類・牧草・根菜類など)、動物(ミミズ・カエル・ヘビなど)

## 食欲

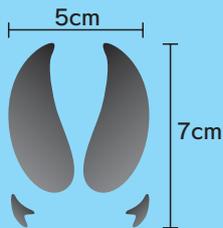
- ・地表から地中の動植物を食べる。
- ※掘り起こし被害は地中の昆虫などを食べる。

## イノシシの特徴



## 見分けにくい…シカとイノシシの痕跡の違い

### イノシシ



- 前足と後足の大きさはほぼ同じ
- イノシシは副蹄の跡が残る

## 生態

- ・最高齢は10歳程
- ・出産期は春～秋。一度に3～8頭を出産。春と秋に2回出産することもある。

## 活動時間

- ・本来は昼行性であるが、人間活動による二次的な習性で夜行性を示す。
- ・一日の移動距離は数km

## トタン柵



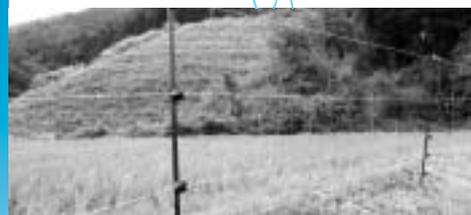
- 長所 ・設置費用が安く、廃材を利用できる。  
・設置しやすい。
- 短所 ・耐久性が低い。  
・乗り越えなどの侵入が完全に防げない場合がある。
- ポイント ・電気柵や金網柵と併用すると効果が高くなる。

## ワイヤーメッシュ柵



- 長所 ・比較的安価である。
- 短所 ・耐久性が高い。  
・重いため運搬に労力がある。
- ポイント ・上端を忍び返しにすると効果的。  
・網目は10cm以下に。

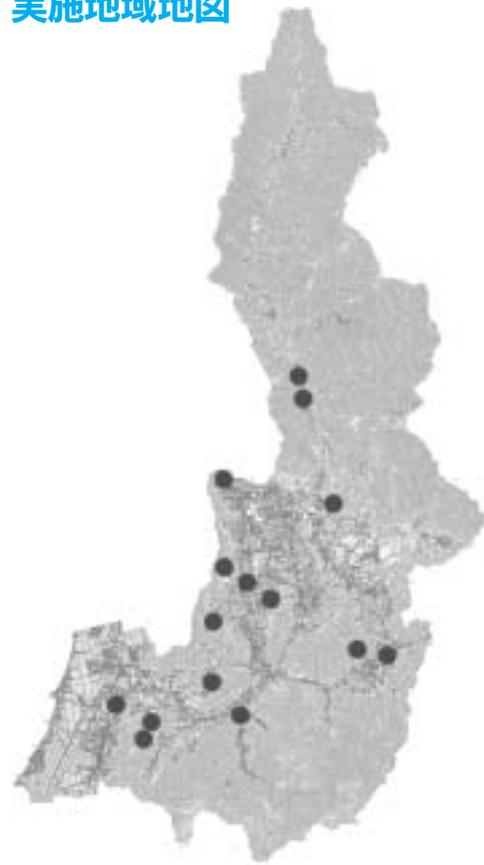
## 電気柵



- 長所 ・比較的安価で設置しやすい。
- 短所 ・漏電を防ぐために草刈りが必要。
- ポイント ・シカには4段張り以上で高さ1.5m以上、イノシシには3段張り電線を20cm間隔に。

# 集落環境点検が広がっています

## 集落環境点検 実施地域地図



## 集落環境点検の流れ (所要時間は半日程度)

- ①点検前  
打ち合わせ
- ②点検活動  
の実施
- ③被害マップ  
の作成
- ④実践計画(案)  
作成
- ⑤集落での  
話し合い
- ⑥対策の実施
- ⑦対策の  
見直しと改善

鳥獣が里地に出没するようになった背景は、里山の環境の変化や生活様式の変化、個体数の増加など、原因は被害を受けている集落によってさまざまです。

「集落環境点検」は、鳥獣が出没する要因を正しく認識することによって、地域の課題を整理・再認識し、その実情に応じた被害防止対策を集落ぐるみで実施することを目的としています。

3年前から開始したこの「集落環境点検」の実施は15集落まで広がりました。「集落環境点検」をご希望の際は、お気軽に鳥獣対策室までご相談ください。

## クマ出沒注意！

7月下旬には伊吹・山東の一部地域でツキノワグマが多数目撃されました。

7月末時点において、人的被害は確認されていませんが、被害にあわないように注意しましょう。

### ツキノワグマの性格

本来は大変臆病で温厚な動物です。とにかくクマとの遭遇を少なくすることが被害の防止につながると考えられます。

- ・ 集落に引き寄せないためにも、
- ・ ゴミの管理の徹底
- ・ 墓地の供え物を持ち帰る
- ・ など、他の鳥獣同様に地域ぐるみで対応していただく。

### 被害防止のために

- ・ 自分の存在を知らせてください  
ラジオ・笛・鈴などで音を出してください。
- ・ 早朝・夜間の外出には注意  
夕方に人里に出て、夜間活動することが多いので、夜間はできるだけ外出しないようにしてください。
- ・ 人家周辺でも出沒します  
周辺地域で出沒情報があるときは、常に周囲に注意を払うように心がけてください。

クマを目撃したら  
鳥獣対策室まで

☎58-22229